

No. 36

多摩.COM

2024.10.01

立正大学同窓会東京多摩支部

支部長 姥貝 莊一

事務局長 野口 真澄

事務局: 〒192-0902

八王子市上野町 11-10 法蓮寺内

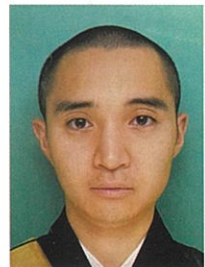
Tel: 042-622-0802

イワギキョウ (南アルプス)

撮影・牛尾征治



ご挨拶



最教寺 副住職

R3 仏宗卒

茂田井 教寛

私は八王子に生まれ、立正大学仏教学部宗学科に入学しました。実家から通った日々でしたが、四年次はじめに世界の状況は一変、コロナ禍に見舞われました。講義は全てオンラインとなり、卒業論文指導も含め対面での講義は無くなりました。四年次は結局キャンパスへ行くことはないままに全課程修了し、三月中旬より身延山久遠寺の僧道実修生として一年一ヶ月を過ごすこととなります。その後の信行道場も含めてコロナ禍仕様の形態で行われたものでした。その経験も相まって当たり前になされていたことの有り難みを強く実感しました。

今現在は八王子に戻り、自坊にて師父のもと勤めています。コロナ禍という未曾有の経験を皆がした上で世の中の「当たり前」は大きく変わりました。現状維持は後退と同義と見なされる部分も多くなる時代になり、一寺

(二面下段に続く)

前支部長

塚本道男氏を悼む



せ申し上げます。

塚本氏は昭和十一年、現在の長房町の御陵の近くでお生まれになりました。その後平岡町に居住され、ご実家の織機工場で仕事をしながら立正大学に通い、昭和三十四年三月に、経済学部経済学科を卒業。その後は、家業の織物業を営みながら、立正大学山岳部のコーチをされてきました。山岳部の後輩には、日本人初の八千メートル峰全十四座登頂を果たした、竹内洋岳氏もおります。

ゴルフもお好きであった塚本氏は、山岳

前支部長の塚本道男氏が、令和六年七月二十七日に逝去されました。享年八十八歳でした。謹んでお知らせ

部の後輩等も誘い、当支部主催のゴルフコンペにもよく参加していただき、大学関係者の方々との交流を大切にされていきました。また、軽井沢での支部主催ゴルフコンペの翌日、八王子までの帰路、塚本氏の案内で佐久から富士見へ抜ける高原道路を走ったこともありです。八ヶ岳山麗の素晴らしい景色を眺めながら、「流石、山岳部出身の先輩だ」と、感心したことを今でも思い出します。

平成三十年六月三日に、故尾崎文英氏の後任として、立正大学同窓会東京多摩支部の第七代支部長に就任され、長きにわたり当支部の運営を牽引していただきました。悲しみは抑えられず残念でならないことですが、今はこれまでの功績を称え、御恩に感謝するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

(姥貝莊一)

(一面下段より続き)

院に勤める僧侶として今後の世の中に適応していく術を見出していく必要性を感じております。

令和六年度支部総会報告

令和六年度の支部総会が、六月二日(日)、八王子エルシイで開催されました。

記念講演は、暮らしと労働研究所長の西岡勇治先生(S52年文社卒・S55年大学院修士過程終了)を迎えて、「トップ企業の経営戦略」についてお話をいただきました。

続いて総会に移り、青梅市在住の阿部大氏(S45年国文卒)が議長席に着き、議事が滞りなく終了しました。

懇親会では、講師の西岡先生をはじめ、群馬・埼玉・神奈川・山梨等の支部からの来賓の挨拶があり、和気藹々と懇親を深めて、楽しいひと時を過ごすことができました。

来年も、一人でも多くの卒業生に参加していただき、卒業生の輪がさらに広がることを願っております。

江戸にまさる水郷都市佐原散策へ

「歴史文化を満喫 伊能忠敬記念館」

日帰りバス旅行のご案内



佐原地区は古くから利根川水運の物資集散の地として栄えた商都の面影が残る「北総の小江戸」と呼ばれる古い町並み。平成八年には関東地方で初めて重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。その佐原で三〇年余りを過ごした伊能忠敬。醸造業を営んでいた時代の土蔵造りの店舗、炊事場、書院、土蔵が残っています。

道 道の駅「水の郷さわら」にも立ち寄り

す。国の史跡に指定。十

七歳で伊能家の養子になり、醸酒や米穀薪炭販売



旅行日程

日時 十一月八日(金) 雨天決行

集合 午前八時半、JR八王子駅南口

サザンスカイタワー多摩信用金庫前

解散 午後六時(予定)

定員 二十五名(先着順)

会費 五千元(昼食代・交通費含む)

※参加申し込み締め切り

十月二十五日(金)

※申込・問い合わせ先(法蓮寺・野口)

☎〇四二・六二二・〇八〇二

事務局より

一、支部長・事務局長の交代

六月二日(日)、令和六年度支部総会があり、新支部長に前事務局長の姥貝莊一氏が、新事務局長に法蓮寺住職の野口眞澄氏が選任され、七月三十一日(水)、役員会を経て正式に就任されました。

二、立正大学同窓会全国大会

六月二十九日(土)、令和六年度立正大学同窓会(本部)の全国大会が、立正大学品川キャンパスで開催され、支部から姥貝氏が出席しました。

福島県平田村の澤村和明村長(S43経済卒)の記念講演がありました。来年の全国大会は、六月二十八日に北海道で開催される予定です。

三、箱根駅伝予選会の応援

東京都箱根間往復大学駅伝予選会が、令和六年十月十九日(土)に、陸上自衛隊立川駐屯地(立川市街地)国営昭和記念公園のコースで行われる予定です。

今回も首都圏の支部と連携しながら、立正大学駅伝部の応援を行っていききたいと思います。

女性部新企画

『秋の朗読会』のご案内

皆さんの心に響くお話を
音楽にのせてお届けします

日時 十月十三日(日)

十四時～十六時

会場 妙経寺 本堂

(住所 八王子市寺町一)

会費 二千元 定員二十名

※朗読会終了後、茶話会がございます。

申込締切 九月三十日(月)



荘厳な雰囲気の中で、ヴァイオリンの生演奏と共に、俳優座所属の中寛三さんにより芥川龍之介、太宰治の作品朗読の会を開催します。皆様のご参加、お待ちしております。

【申込・問い合わせ先】

☎042-649-2672(姥貝)



《会費、寄付金のお願い》

今年度の会費をまだお納めでない方は、ぜひご納入をお願い致します。皆様からお納めいただく会費・寄付金は、公益事業や同窓会事業等に使用させていただきます。

【会費・寄付金】 一口 1,000円以上

【振込先】 ゆうちょ銀行

口座名義 立正大学同窓会東京多摩支部

記号番号 00180-4-165371

【問合せ先】

立正大学同窓会東京多摩支部事務局

☎042-622-0802

編集後記

パリオリンピックのテレビ観戦で、寝不足になられた方も多かったのではないのでしょうか。私もその一人です。目標に向かって努力を重ね挑戦する姿と選手の笑顔、感謝の言葉の数々に感動しました。また、十月の朗読会に足を運んでいただき、感動を味わっていただけだと思います。

(石井)